

北九州市立大学 地域戦略研究所 NewsLetter

[発行]

公立大学法人

北九州市立大学 地域戦略研究所

〒802-8577 北九州市小倉南区北方 4-2-1

Tel: 093-964-4302

Fax: 093-964-4300

chiikiken@kitakyu-u.ac.jp

http://www.kitakyu-u.ac.jp/iurps/

地域戦略研究所 研究報告会を開催しました

北九州市立大学地域戦略研究所では、北九州地域が抱える多様な課題やこれからのまちづくりのあり方について、学術的な視点から調査研究を行い、その成果を報告する研究報告会を年1回開催しています。都市政策研究所時代から取り組んできており、地域戦略研究所へと組織替えして以降、2017年度が第2回目の開催となります。

第2回研究報告会は2017年5月19日(金)、北九州市小倉北区の西日本総合展示場新館301・302会議室において、下記の内容について報告を行いました。一般市民の方・行政関係者・地元企業等各方面から55名のご参加をいただきました。厚く御礼申し上げます。

- 文系女子大生の就業意識に関する調査研究～地元就職促進に向けて～
[地域戦略研究所 教授 吉村英俊]
- ギラヴァンツ北九州と北九州スタジアムに対する市民意識を踏まえた今後の課題
[地域戦略研究所 教授 南博]
- 城跡および城下町を活かしたまちづくりに関する考察～城跡周辺エリアを対象とした計画の比較～
[地域戦略研究所 准教授 小林敏樹]
- 公共空間の占用許可制度とエリアマネジメントに関する研究
[地域戦略研究所 副所長・教授 内田晃]



関門地域共同研究会 成果報告会を開催しました

北九州市立大学地域戦略研究所と下関市立大学附属地域共創センターで構成する「関門地域共同研究会」は、1994年度から関門地域に関する様々な調査研究に取り組んでいます。昨年度(2016年度)に取り組んだ「関門地域におけるインバウンド」および「子どもの貧困に対する財政支援・教育保障」の2分野の研究報告、並びに熊本地震や東日本大震災を踏まえた上での「関門地域における防災のあり方やまちづくりの方向性」等について議論を深めるシンポジウム「地域防災と復興」を、関門地域共同研究会成果報告会として2017年7月13日(木)、北九州市小倉北区の西日本総合展示場新館314・315会議室で開催いたしました。一般市民の方・行政関係者・地元企業等各方面から約70名のご参加をいただきました。厚く御礼申し上げます。

第1部 関門地域共同研究会 平成28年度研究報告

- 関門地域におけるインバウンド政策に関する調査研究：北九州空港・北九州港・下関港を事例として
[北九州市立大学 地域戦略研究所副所長・教授 内田晃]
- 地方都市における子どもの貧困対策としての教育保障の展開
[北九州市立大学 基盤教育センター講師 寺田千栄子]
- 那覇市における子どもの貧困対策に関する考察 一国・県からの財政支援と地域的なサービス
[下関市立大学 経済学部教授 難波利光]

第2部 シンポジウム「地域防災と復興」

- パネリスト： 福岡大学法学部准教授 西澤 雅道 氏
北九州市消防局警防部警防課警防係長 梅木 久夫 氏
北九州市立大学地域共生教育センター特任教員 村江 史年
下関市立大学附属地域共創センター長 濱田 英嗣
北九州市立大学法学部法律学科3年 森茂 梨萌
コーディネータ： 北九州市立大学地域戦略研究所教授 南 博



地域戦略研究所および所属教員の最近の主な活動記録

【2017年4月～6月】

前年度の地域課題研究の成果について、テレビ1局、新聞3紙等が報道 [南博教授]

2016年度の地域課題研究において、『「ギラヴァンツ北九州」と「北九州スタジアム」に対する市民意識調査』を2017年3月に実施しました。この調査は2010年以降のJリーグ開幕時期にほぼ毎年実施している調査であり、インターネット調査で実施しています。

その結果についてはp.1に記載した北九州市立大学地域戦略研究所研究報告会(5/19)において報告しました。また、新しい北九州スタジアムが供用開始され、さらにギラヴァンツ北九州がJ3に降格した状況であることから調査研究結果に対する社会的関心も高く、FBS福岡放送、毎日新聞、読売新聞、西日本新聞、FM KITAQにおいて結果が報道され、南教授が解説を行いました。

その他の主な活動記録 ※各項目ごとに原則として担当教員等(□)表記の五十音順に列挙

■地域課題に関する研究、共同研究、受託研究での調査等(抜粋)

- 関門地域共同研究会 平成29年度第1回運営委員会(4/13、下関市立大学)
- 第2回北九州市立大学地域戦略研究所研究報告会(5/19、西日本総合展示場新館)
- JICA 産業人材育成事業にかかわる関係者協議(6/25～29、カンボジア・プノンペン) [吉村]

■講演等

- 宗像・糟屋北部地域広域連携プロジェクト推進会議 プロジェクト検討ワークショップ(5/11:古賀市役所) [内田]
- 北九州雇用対策協会総会(6/21:ホテルクラウンパレス小倉) [内田]

■国・地方自治体・経済界等の各種審議会・委員会(開催された主なものを抜粋)

- | | |
|-----------------------------------|----------------------------------|
| ○北九州市コンパクトなまちづくり専門小委員会(座長) [柳井] | ○北九州市公共事業評価に関する検討会議(座長) [柳井] |
| ○北九州観光コンベンション協会評議会(議長) [柳井] | ○みやこ町まち・ひと・しごと創生会議(委員長) [内田] |
| ○田川広域連携プロジェクト推進会議(顧問) [内田] | ○遠賀中間広域連携プロジェクト推進会議(顧問) [内田] |
| ○中間市地域公共交通協議会(委員) [内田] | ○宮若市総合計画審議会(会長) [内田] |
| ○芦屋町地域公共交通協議会(委員) [内田] | ○北九州市スポーツ推進審議会(委員) [南] |
| ○北九州地域連携懇談会(構成員) [南] | ○北九州地域連携懇談会プロモーション部会(構成員) [南] |
| ○北九州市(仮称)平和資料館のあり方を考える懇話会(座長) [南] | ○田川市経営評価改革推進委員会(副委員長) [南] |
| ○九州経済連合会行財政委員会企画部会(委員) [南] | ○北九州ベンチャー・イノベーションクラブ企画運営委員会 [吉村] |

■報道

- FM KITAQ、2017年4月17日、「ギラヴァンデミック研究所」(20:00～21:00) [南]
- 毎日新聞、2017年4月19日、北九州面「勝山公園内の駐車場が最適 平和資料館建設」 [南]
- 西日本新聞、2017年4月19日、北九州面「平和資料館 中央図書館隣に 北九州市有識者懇が意見集約」 [南]
- FM KITAQ、2017年4月21日、「FORZA KITAQ」(17:00～18:00) [南]
- 読売新聞、2017年5月10日、下関面ほか「レノファ ホームタウンどう根ざす」 [南]
- 毎日新聞、2017年5月16日、北九州面「輝け!ギラヴァンツ 『ミクスタ開業知っている』84.6%」 [南]
- 読売新聞、2017年5月19日、北九州面「Go ギラヴァンツ北九州 ミクスタ認知度8割超 北九大教授調査 『J3降格、PR不足』」 [南]
- FM KITAQ、2017年5月19日、「FORZA KITAQ」(17:00～18:00) [南]
- FBS福岡放送、2017年5月24日、『めんたいプラス』(18:15～19:00)「期待そして課題 北九州の新スタジアム その後は?」 [南]
- 西日本新聞、2017年5月25日、北九州面「長崎の原爆被害も平和資料館で紹介 北九州市懇話会報告案」 [南]
- 西日本新聞、2017年5月26日、北九州面「進め!ギラヴァンツ ミクスタ効果不十分 市民1088人調査」 [南]
- 読売新聞、2017年6月16日、北九州面「中間市の課題 公共施設6割が改築期」 [南]



2017年5月19日のFM KITAQ「FORZA KITAQ」生放送インターネット動画配信の様子(配信画面)
[画面左:ギラヴァンツ北九州 井上氏、画面右:本研究 南教授]

2年次配当の地域科目2科目を今学期から開講 [COC+事業]

「北九州市の都市政策」「地域のにぎわいづくり」

北九州市立大学では、COC+事業の実施を契機とし、教養教育科目として新たに“地域科目”を選択必修科目として2016年度から開講しています。この科目は、学生自身の学習・生活の地である北九州・下関地域の文化、歴史、経済、産業等に関する授業で構成し、学生自らがこの地の魅力を知り、キャリア形成について考えることを目的としています。

この地域科目は6つの授業で構成し、いずれも地域戦略研究所が提供する授業です。このうち1年次配当の「地域の文化と歴史」と「地域の社会と経済」は2016年度2学期に開講しました。2017年度1学期には、2年次配当の「北九州市の都市政策」と「地域のにぎわいづくり」を開講し、多くの学生が北九州・下関地域への理解を深めたり、社会課題への対応方策について学んだりする授業に真剣に取り組んでいます。

以下に、「北九州市の都市政策」および「地域のにぎわいづくり」の概要を紹介します。

■「北九州市の都市政策」 担当：内田晃 地域戦略研究所副所長・教授

本科目は北九州市の都市政策について、都市づくり、港湾、産業、保健福祉、環境など分野ごとの政策、及び個別プロジェクトに至るまで包括的に学ぶことで、地域への愛着を深めるとともに、地域の課題を考察するきっかけをつかむことを目指しています。地域創生学群を除く北方キャンパス全4学部10学科の約250名の学生が受講しています。

本年4月よりスタートした講義では、下表に示すように、北九州市役所の担当者（主に課長又は係長級）にゲストスピーカーとしてご登壇頂いています。毎回の講義ではまず講師から約70分間お話頂き、講師自らが設定したレポート課題を残りの20分で作成するという形式で実施しています。積極的に質問をする学生は少ないものの、毎回異なったテーマの講演を真剣な表情で聞いており、レポート課題にも真摯に取り組んでいます。本講義を通じて、少しでも北九州市の政策についての理解を深め、地域に愛着を感じ、地域就職への意識が醸成されることを期待しています。



表 2017年度1学期「北九州市の都市政策」 各回テーマと北九州市役所の担当課

実施日	テーマ	北九州市役所の担当課
第3回 4/25 (火)	北九州市の都市計画	建築都市局都市計画課
第4回 5/9 (火)	北九州市の都市交通政策	建築都市局都市交通政策課
第5回 5/16 (火)	城野ゼロ・カーボン先進街区	建築都市局区画整理課
第6回 5/23 (火)	公共施設マネジメント	企画調整局都市マネジメント政策課
第7回 5/30 (火)	市民に親しまれる道づくり	建設局道路計画課
第8回 6/6 (火)	北九州市の港湾政策	港湾空港局計画課
第9回 6/13 (火)	北九州市の産業・雇用政策	産業経済局企業立地支援課
第10回 6/20 (火)	北九州市の保健福祉政策	保健福祉局長寿社会対策課
第11回 6/27 (火)	公害克服と環境国際協力・環境学習	環境局環境国際戦略部 環境局総務政策部環境学習課
第12回 7/4 (火)	環境保全の幅広い取り組み	環境局環境監視課
第13回 7/11 (火)	ごみの適正処理と資源循環	環境局循環社会推進課
第14回 7/18 (火)	地球温暖化と環境・エネルギー対策	環境局温暖化対策課 環境局地域エネルギー推進課

※「地域のにぎわいづくり」の概要は次ページ参照

(前ページからの続き)

■「地域のにぎわいづくり」 担当：南博 地域戦略研究所教授

2017年度から開講した地域科目「地域のにぎわいづくり」は、北九州・下関地域において観光振興や各種イベント開催などを通じて地域を訪れる人々（交流人口）の増加等を図り、地域活性化につながる方策について学ぶことを目的とした授業です。また、地域活性化実現に向けた現状と課題を把握し、それを踏まえた「にぎわいづくりプラン」を自ら立案する基礎的な力を得ることを目指しています。

2017年度授業においては、Jリーグクラブ・ギラヴァンツ北九州および北九州市役所等の協力のもと、今春から供用開始された小倉駅徒歩7分という好立地の北九州スタジアム（ミクニワールドスタジアム北九州）を主たる題材とし、小倉駅周辺の活性化を視野に入れた「ミクスタ集客プラン」をグループワークで作成する取り組みを行いました。地域課題解決に向けたPBL（Project Based Learning）型の授業として実施し、集客プラン作成に際してはゲストスピーカーによる講義やスタジアムでのフィールドワーク（参加必須）も実施しました（下表参照）。受講者は外国語学部・経済学部・文学部・法学部の4学部の2年生約80人であり、10グループに分かれてグループワークを活発に行いました。

また、授業の様子はNHK北九州放送局に密着取材いただき、7月13日の「ニュースブリッジ北九州」において特集として放送いただいたほか、発表会に関するテレビ・新聞取材も複数いただきました。

表 2017年度1学期「地域のにぎわいづくり」各回テーマ

回	日にち	授業内容	備考
第1回	4/12 (水)	ガイダンス	
第2回	4/19 (水)	にぎわいづくり政策（観光、MICE推進等）の意義 ＋ 北九州市および下関市のにぎわいづくり戦略	ゲスト：北九州市大規模大会誘致推進室職員
第3回	4/26 (水)	北九州スタジアム（ミクニワールドスタジアム北九州）の概要 ＋ ギラヴァンツ北九州の社会的存在意義等	ゲスト： ギラヴァンツ幹部職員
第4回	5/10 (水)	課題設定：集客プラン（仮称）作成について	
第5回	5/14 (日)	フィールドワーク① ～北九州スタジアム試合観戦・調査	ギラヴァンツ北九州 vs ガイナーレ鳥取 観戦
第6回		フィールドワーク② ～北九州スタジアム試合観戦・調査	
第7回		フィールドワーク③ ～北九州スタジアム試合観戦・調査	
第8回	5/17 (水)	プラン作成① 【現状分析、課題抽出等】	
—	5/28 (日)	5/14に参加できなかった学生、および自主的な追加フィールドワーク実施	vs FC東京 U23 観戦
第9回	5/31 (水)	プラン作成② 【アイデア検討】	
第10回	6/7 (水)	プラン作成③ ＋ ギラヴァンツ北九州の実際の集客戦略	ゲスト：ギラヴァンツ幹部職員
第11回	6/14 (水)	プラン作成④ 【プランの具体的検討】	
第12回	6/21 (水)	プラン作成⑤ 【プランとりまとめ（1）】	
第13回	6/28 (水)	プラン作成⑥ 【プランとりまとめ（2）】	
第14回	7/5 (水)	ミクスタ集客プラン発表会 ※審査員：ギラヴァンツ幹部職員、サポーター、北九州市スポーツ振興課職員、北九州市MICE推進課職員	各グループ7分間でプランのプレゼンを実施。外部の審査員による評価上位3グループを発表。
第15回	7/12 (水)	各プランに対する詳細評価と実現に向けた課題検討	



ミクニワールドスタジアム北九州での
フィールドワークの一場面
(サポーターの方による学生へのレクチャーの様子)



「ミクスタ集客プラン」発表会の様子
(テレビ局2社によるカメラ取材あり)